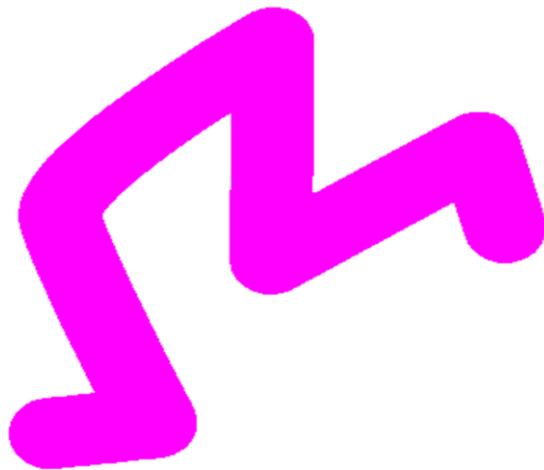


平成29年度

事業報告書  
決算報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)



一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

# (目次)

事業報告書	頁
1. 総括	3
2. 理事会・評議員会に関する事項	5
3. 組織及び職員に関する事項	8
4. 事業の実施に関する事項	10
(1) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究等	10
(2) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発	10
(3) 介護技術等研修事業	11
(4) ステップこはま訪問看護ステーション	12
(5) 介護老人保健施設ステップハウス宝塚	12
(6) 通所リハビリテーション	12
(7) 訪問リハビリテーション	13
(8) ステップごてんやまケアプランステーション	13
(9) ステップこはまケアプランステーション	13
(10) ステップいけのしまケアプランステーション	13
(11) ステップさかせがわケアプランステーション	14
(12) ステップこはまヘルパーステーション	14
(13) ステップさかせがわヘルパーステーション	15
(14) 池ノ島デイサービスセンター	16
(15) ステップごてんやまりハビリクラブ	16
(16) ステップこはま24hケアステーション	17
(17) 御殿山地域包括支援センター	17
(18) 小浜地域包括支援センター	18
(19) 視察等受入状況	19
(20) シルバーハウジング生活援助員派遣事業	22
(21) ファミリーサポートセンター事業	23
(22) 介護ファミリーサポートセンター事業	24
(23) 言語訓練事業(話咲会)	24
(24) 介護予防普及啓発事業(いきいき百歳体操)	25
(25) ステップはつらつ体操教室	25
(26) 認定調査ステーション	25
(27) ステップ相談支援センター ベルフラワー	26
決算報告書	
1. 正味財産増減計算書	28
2. 正味財産増減計算書内訳表	30
3. 貸借対照表	34
4. 財産目録	35
5. 財務諸表に対する注記	37
6. 附属明細書	40
監査報告書	
1. 監査報告書	42

平成29年度  
事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

## 1. 総括

平成 29 年度は、介護人材の処遇改善を目的に臨時で改定率 1.14%の介護報酬改定が実施されました。この改定を受け公社におきましても介護職に対して月約 1 万円程度の処遇改善を実施しております。また、第 2 次中期経営計画（チャレンジプラン 2016～2018）の 2 年目にあたり、計画上で目標とされていた公社ブランドの浸透や外部への PR 活動強化に取り組みました。具体的には、ホームページのリニューアル、宝塚サマーフェスタ、医療生協まつりへの参加、議会研修会での発表等について実施しました。

また、市内第 2 ブロックに訪問看護（サテライトステーション）、訪問介護、居宅介護支援事業所を併設した新拠点「逆瀬川ケアステーション」を開設しましたが、利用者ニーズは一定数あったものの、職員の離職も影響し、看護・介護職を中心とした人員体制が整わず、残念ながら単年度で全ての事業を撤退する運びとなりました。

平成 29 年 7 月、妙中理事長が就任され、新体制による事業運営がスタートしました。そのことにより、宝塚市や宝塚市立病院との連携が飛躍的に向上するとともに、職員の意識も前向きに変化し、モチベーションアップにつながってきております。

上記のとおり、各事業において積極的な事業運営に取り組み、収益の改善に努めたものの、人件費の増加、設備投資費用等事業費も増大し、最終の収支差につきましては大幅な赤字決算となりました。

### ① 介護保険事業

「介護老人保健施設事業（ステップハウス宝塚）」においては、病院や居宅介護支援事業所への積極的営業の実施により、第四四半期はじめに感染症の影響で稼働率が一時低下したものの全体としては、延べ利用者数が対前年度比 105.3%となり事業量が増大しました。また、在宅復帰強化型老健として稼働率も維持しつつ、在宅復帰率向上への取り組みを行い、介護老人保健施設本来の役割を果たすべく積極的な運営に努めました。

「通所リハビリテーション事業（ステップハウス）」は述べ利用者数、対前年比 101.0%の微増、「通所介護事業（池ノ島デイサービスセンター）」についても、下半期に稼働率が低下しましたが、述べ利用者数は対前年度比 101.8%の微増となりました。

在宅サービスでは、全体として、逆瀬川ケアステーションの閉鎖にともなう影響を各事業が受けることとなりました。「訪問看護事業（ステップこはま訪問看護ステーション）」では 10 月にサテライトステーションを閉鎖し、本体と統合となりました。また、職員の退職にともなう利用者の減少等があり、述べ訪問件数は対前年度比 93.9%の減となりました。

「訪問介護事業（ステップこはまヘルパーステーション）」では 3 月末にステップさかせがわヘルパーステーションが閉鎖となったことを受け、利用者を吸収し、両ステーションを合わせた述べ訪問回数は、対前年度比 103.4%の微増となりました。

「居宅介護支援事業」では、ステップさかせがわケアプランステーションが 2 月末に閉鎖したことによりステップこはま・ごてんやま両ケアプランステーションがケース移管を受け入れることとなりました。一方、ステップいけのしまケアプランステーションにおいては閉鎖の影響が少なく対前年度比 103.3%と堅調に推移いたしました。

結果として 4 つのケアプランステーションにおける合計述べ利用件数では、全体としての伸びを反映し、対前年度比 110.5%と大幅増となりました。

これらの結果、介護保険事業における収入は前年度比 17,287 千円（1.5%）の増となりました。支出については、前年度比 31,528 千円（2.9%）の増となり、収支差額は 52,020 千円と前年度比△14,241 千円（78.5%）となりました。

## ② 公益目的事業

介護職員初任者研修事業では、受講生は年々減少しているものの、人材確保につなげるべく年 2 回開講いたしました。また、日常生活総合事業における「訪問サービス A 型事業従事者養成研修」についても年 6 回開催、延べ 74 名の参加を得て宝塚市介護保険課との連携の中実施いたしました。介護保険認定調査事業については、調査に対する単価が引き上げられたことから収支差が大幅に改善しました。さらに通所型介護予防事業では、「いきいき百歳体操」が地域で順調に増加し、会場数も 102 会場となりました。自主事業となる「ステップはつらつ体操」についても現在 175 名の登録者、市内 9 会場での開催となっております。

公益目的事業の収入につきましては前年度比 4,788 千円増の 74,705 千円（106.8%）、支出については前年度比△11,796 千円の 93,166 千円（88.8%）となり、この結果、収支差額は対前年比 16,582 千円増の△18,461 千円となりました。

## ③ 管理・設備事業

支出削減への取り組みとして、特命随意契約や保安業務について見直しを行いました。また人材確保のため専門学校等への訪問を行い、ネットワークの構築に努めました。

経営面においては、人事制度改革評価制度見直しワーキング会議を継続し、給与・等級体系や人事評価制度の検討、見直しを行いました。

一方、施設設備の整備事業につきましては、ステップハウス宝塚の老朽化に伴う大規模改修事業として、「空調設備工事（約 8,517 千円）」、「洗浄機修繕（約 1,049 千円）」、池ノ島デイサービスセンターでも「洗浄機修繕（約 659 千円）」を実施いたしました。

平成 29 年度における当公社の収支決算につきましては、経常収益 1,254,462,591 円、経常費用 1,288,915,512 円となり、収支差額は△34,452,921 円と前年度比△26,399,985 円の最終赤字という結果となりました。

平成 28 年度に続き 2 期連続赤字という大変厳しい経営状況を受け、さらなる財務体質改善への取り組みが必要となっております。平成 30 年度については、様々な課題に対応すべく、新理事長のもと組織再編が実施され、管理部、在宅サービス部、施設サービス部が設置されました。新体制のもと、平成 30 年度介護保険制度改正の内容を分析し、各部が一致団結して事業規模等の再検討、目標達成に向けたオペレーションの見直しを行います。その上で、基礎的収益力を高め、支出削減と合わせて、より効率的な事業運営を実施する、所謂「地に足のついた経営」を進めてまいります。

一方、「宝塚市地域包括ケア推進プラン（2018～2020）」も平成 30 年度からスタートしております。宝塚市において福祉公社が担うべき役割について、市担当課と十分に協議を進め、他機関と連携を図りつつ、計画のスローガンである「健康で、安心して自分らしくいきいきと暮らし続けられるまち宝塚」の構築に向けて職員一丸となって取り組んでまいります。

## 2. 理事会・評議員会に関する事項

### (1) 理事会

区 分	日 時 ・ 場 所 ・ 付 議 事 項	結 果
第1回	平成29年6月13日(火) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 南棟1階会議室	
	議案第1号 平成28年度事業報告について	承認
	議案第2号 平成28年度収支決算報告について	承認
	議案第3号 公益的支出計画実施報告書の提出について	承認
	議案第4号 任期満了に伴う理事、監事及び評議員の選定について	承認
	議案第5号 平成29年度収支補正予算(第1号)について	承認
	議案第6号 平成29年度第1回定時評議員会の開催について 報告第1号 平成28年度発生事故について	承認 報告
第2回	平成29年12月7日(木) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 南棟1階会議室	
	議案第1号 平成29年度上半期の経営状況について	承認
	議案第2号 平成29年度第1回臨時評議員会の開催について	承認
	報告第1号 平成29年度上半期の発生事故について	報告
第3回	平成30年3月15日(木) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 南棟1階会議室	
	議案第1号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社各種規程の変更について	承認
	議案第2号 平成30年度事業計画について	承認
	議案第3号 平成30年度収支予算について	承認
	議案第4号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社定款の一部改正について	承認
	議案第5号 平成29年度第2回臨時評議員会の開催について	承認
	報告第1号 ステップケアセンター逆瀬川の閉鎖について	報告

(2) 評議員会

区 分	日 時 ・ 場 所 ・ 付 議 事 項	結 果
第1回 定 時	平成29年6月30日(金) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 南棟1階会議室	
	議案第1号 平成28年度収支決算報告について 報告第1号 平成28年度事業報告について 報告第2号 公益目的支出計画実施報告書の提出について 議案第2号 任期満了に伴う評議員及び理事・監事の選任について 報告第3号 平成29年度収支補正予算(第1号)について 報告第4号 平成28年度発生事故について	承 認 報 告 報 告 承 認 報 告 報 告
第1回 臨 時	平成29年12月18日(月) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 南棟1階会議室	
	報告第1号 平成29年度上半期の経営状況について 報告第2号 平成29年度上半期の発生事故について	報 告 報 告
第2回 臨 時	平成30年3月26日(月) 於：介護老人保健施設ステップハウス宝塚 南棟1階会議室	
	議案第1号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社定款の一部改正について 報告第1号 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社各種規程の変更について 報告第2号 平成30年度事業計画について 報告第3号 平成30年度収支予算について 報告第4号 ステップケアセンター逆瀬川の閉鎖について	承 認 報 告 報 告 報 告 報 告

### 3.組織及び職員に関する事項

#### (1) 役員

平成30年3月31日現在

(理事・監事)

(評議員)

	役員の種類	名 前	備 考
1	理 事 長	妙 中 信 之	ステップハウス 宝塚施設長
2	常 務 理 事	岸 本 和 夫	公社常務理事
3	理 事	明 石 章 則	宝塚市 病院事業管理者
4	理 事	稲 野 廣	宝塚市社会福祉 協議会理事長
5	理 事	今 井 信 行	宝塚市医師会 副会長
6	理 事	鵜 澤 靖	公社事務局長
7	理 事	島 田 康 治	宝塚障害福祉 市民懇談会会長
8	理 事	辻 田 智 子	宝塚市介護者 家族の会かなえ の会会長
9	理 事	福 住 美 壽	宝塚市民生委員 ・児童委員連合 会会長
10	理 事	松 井 眞 理 子	宝塚市薬剤師会 副会長
11	理 事	山 岡 集 一	宝塚市歯科医師 会副会長
12	監 事	柴 崎 崇	宝塚法律事務所 弁護士
13	監 事	平 井 利 文	宝塚市 会計管理者

	名 前	備 考
1	一 圓 光 彌	関西大学 政策創造学部 名誉教授
2	今 西 則 行	宝塚さざんか福祉会 常務理事
3	酒 井 勝 宏	宝塚市 健康福祉部長
4	須 藤 実 枝	宝塚市自治会 連合会理事
5	○ 竹 谷 輝 男	元宝塚市 社会教育委員
6	○ 多 田 嘉 則	宝塚市老人 クラブ連合会会長
7	松 藤 聖 一	こむの事業所 代表理事
8	山 田 精 一	聖隷福祉事業団 執行役員
9	和 田 縉 市 朗	宝塚さくら福祉会 理事長

○  
苦情解決第三者委員

(2) 職員人数

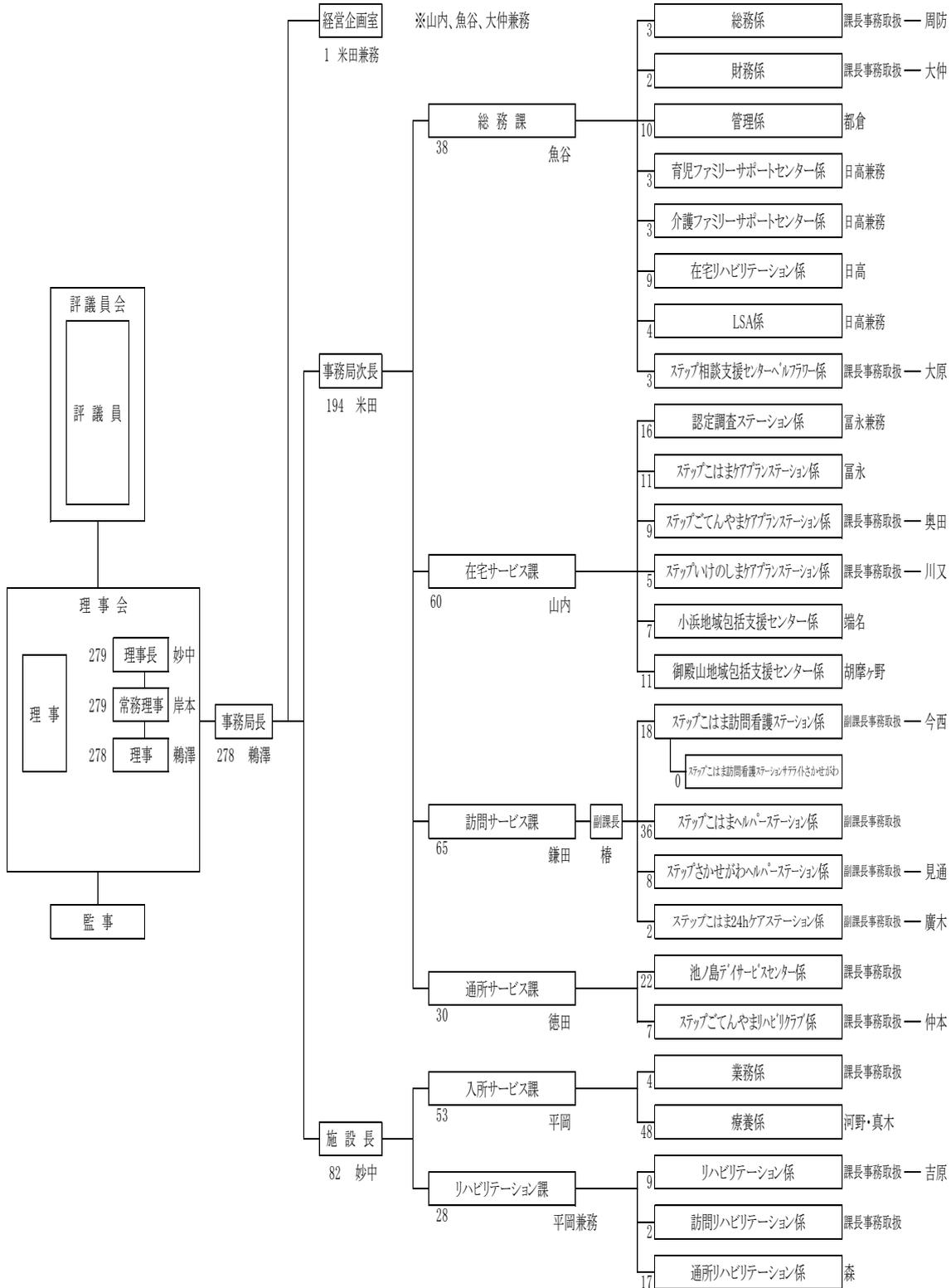
平成30年3月31日現在

(単位:人)

	理事長	事務局	課長	副課長	係長	主任	再雇用	正規職員	臨時職員	合計	構成比
事務職		3	1		1	2		11	13	31	11.0%
医師	1									1	0.4%
看護師			1			2	2	11	18	34	12.1%
理学療法士			1			1		5	5	12	4.3%
作業療法士					1			5	2	8	2.8%
言語聴覚士								1	1	2	0.7%
介護職			2	1	3	2	1	28	78	115	40.8%
介護支援専門員					1	2		7	36	46	16.3%
相談員					2	1		7	2	12	4.3%
管理栄養士								1		1	0.4%
運動指導員									4	4	1.4%
設備									2	2	0.7%
保安									4	4	1.4%
清掃									6	6	2.1%
運転手									4	4	1.4%
合計	1	3	5	1	8	10	3	76	175	282	
構成比	0.4%	1.1%	1.8%	0.4%	2.8%	3.5%	1.1%	27.0%	62.1%		

(3) 組織図

平成30年3月31日現在



## 4 事業の実施に関する事項

### (1) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する調査研究等

- ア 保健福祉サービスに対するニーズの把握及び関係機関との調整を行った。
- ・宝塚市介護保険事業者協会 各部会・定例会、研修会、フォーラム等への参加
  - ・宝塚市訪問看護事業運営協議会事務局として他訪問看護ステーション・医師会との意見交換や連絡調整の実施（ステーション会議12回・運営協議会2回）
  - ・宝塚在宅医療交流会、宝塚緩和医療連絡協議会への参加
  - ・宝塚市地域において活動する介護保険、医療保険関係者の協会に加入する等随時、保健福祉関係団体との連絡調整を実施
  - ・宝塚市立病院、宝塚リハビリテーション病院と医療・福祉の連携を考える「宝塚市地域包括ケアシステム研究会（3つの若葉を育てる会）」開催。事務局として研修、連絡調整を実施（研究会月1回）

### イ 職員全体研修

- ・第1回 平成29年7月24日「重度障がい者へのコミュニケーション支援について」  
講師：樋口 智和 氏（公社職員）  
参加人数29名
- ・第2回 平成30年1月29日「身体障がい者補助犬について知っていますか？」  
講師：谷口 二郎 氏（日本サービスドッグ協会理事長）  
参加人数21名
- ・第3回 平成30年3月26日「宝塚市の介護福祉サービスの現状と公社のこれから」  
講師：妙中 信之 氏（公社理事長）  
参加人数54名

### (2) 在宅の高齢者等に対する保健福祉サービスに関する知識の普及啓発

#### ア 広報「たからづか」への掲載

- ・育児ファミリーサポートセンター  
講習会開催について（テーマ）  
5月号 子育て支援をしたい人 春の講習会  
10月号 子育て支援をしたい人 秋の講習会  
2月号 子育てを手伝ってと言った良かった サポートして良かった
- ・介護ファミリーサポートセンター  
案内と会員募集について

9月号、2月号

- ・介護職員初任者研修過程（旧ホームヘルパー2級養成研修）

4月号、8月号

- ・訪問型サービスA事業従事者養成研修

4月号、6月号、8月号、11月号、12月号、1月号

イ 公社広報誌

- ・「えがお」No. 45の発行 平成29年10月

特集「はじめまして、こんにちは！」

- ・「えがお」No. 46の発行 平成30年3月

特集「池ノ島デイサービスの楽しい行事」

ウ 講習会の開催

- ・ファミリーサポートセンター事業関連の講習会等

- ・介護ファミリーサポートセンター事業関連の講習会等

(3) 介護技術等研修事業

ア 地域に出かけるヒューマンケア講座

- ・御殿山地域包括支援センターの介護・健康教室

- ・小浜地域包括支援センターの介護・健康教室

イ 介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級養成研修）

8期 平成29年5月15日（月）～平成29年7月11日（火）

受講生3名

9期 平成29年9月11日（月）～平成29年12月6日（水）

受講生7名

ウ 訪問型サービスA事業従事者養成研修

5月開講 受講生20名 7月開講 受講生22名

9月開講 受講生3名 12月開講 受講生8名

1月開講 受講生7名 2月開講 受講生14名

#### (4) ステップこはま訪問看護ステーション

訪問看護は、かかりつけ医師の指示のもと、地域で療養生活に不安を感じておられる方に寄り添い、目標を共有し、安心して、自分らしく過ごしてもらえるよう、個々の状態に応じた看護やリハビリテーションを提供しています。24 時間のサポート体制を強化し、一体型定期巡回サービス(別紙)、難病、がん末期における医療保険率も拡充させ、地域包括ケアシステムの目指す、中重度の在宅受け入れに貢献しています。また、地域保健活動にも取り組んでいます。(まちの保健室・地域サロンなど)また、看護師研修、看護学生実習も3校受け入れなど、病院勤務看護師との連携、訪問看護師の育成にも力を入れています。

さかせがわサテライト開設に伴い、訪問件数・緊急対応数も増加し、医療保険利用者 3 割キープ。1 件単価 9000 円以上と収支は黒字を維持できました。その反面、訪問件数の増加に伴う弊害として、スタッフの負担が大きくなり、退職者が続き、11 月にサテライト廃止。さかせがわとこはまの統合に伴う、利用者の移管や事務的作業時間の増加によるスタッフの疲弊もみられ、モチベーションの低下につながらないように、個別面談や励ましの声かけを実施していきました。1月から3月は、常勤看護師の退職の影響を受け、事業規模は縮小しましたが、健全な経営と働きやすい職場を目指し努力していきます。

(別添資料 P1)

#### (5) 介護老人保健施設ステップハウス宝塚

ステップハウス宝塚では、これまでから引き続き老健本来の役割である「在宅復帰支援」を中心に取り組んでおります。入所前後訪問等により、評価と計画書の作成・専門的リハビリの提供・多職種も含めて生活機能向上プログラムを実施しております。在宅強化型老健としての加算算定においては、入院された方も多く在宅復帰率の不安定さにより厳しい数字となりましたが、稼働率の向上を図ることで大きなダメージなく経過しました。今後も利用者にとってよりよい生活の場や環境における支援とともに老健施設の機能である在宅復帰支援に努めて参ります。

また、経年劣化による設備面においては、係りや管理課とともに改善していけるよう取組み、より良い施設生活を提供できるよう努めて参ります。

(別添資料 P2)

#### (6) 通所リハビリテーション

通所リハビリテーションは、心身機能の維持向上・介護負担の軽減を目標に利用者個々の身体状況や生活に応じた個別のリハビリテーションを提供し、在宅生活を支援しています。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の 3 職種による個別リハビリテーションを提供している施設は少なく、また約 50%の方が要介護 3・4・5 で男性の利用者が多いのが特徴です。(男性 55%・女性 45%)

また、要支援を対象とした短時間コース(太陽クラブ)により介護予防にも取り組んでおり、今

後はさらに関係機関との連携やチームワークを強化し、サービスの質的向上に努めて参ります。  
(別添資料 P2)

#### (7) 訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションは在宅で生活する利用者の個々に応じたリハビリを提供し、利用者の心身機能の維持向上、介護予防に努めています。

地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、施設医の協力のもと理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による生活に密着したリハビリを実施しています。

今後も公社内外の事業所と情報を共有・連携をとりながら、個別のニーズに対応し在宅生活を支援して参ります。

(別添資料 P2)

#### (8) ステップごてんやまケアプランステーション

ステップごてんやまケアプランステーションの事業目標として、各職員が『伝える力・聞き取る力』を養うことを意識して、事業所内でのケース共有や利用者・家族への相談支援を行いました。地域や多職種との連携の意識を持ち、研修にも率先して参加を行いました。また事業所の月報を回覧し、担当件数の把握や新規相談に対して意識を高く持ち、迅速な対応を行いました。今後も良質なサービス・ケアマネジメントを提供するために、業務の効率化と事前準備を行い、思いやりの気持ちを持って、言葉を大切に使い、地域や事業所から選ばれる居宅を目指します。

(別添資料 P3)

#### (9) ステップこはまケアプランステーション

ステップこはまケアプランステーションは、主任介護支援専門員を配置し、特定事業所加算Ⅱを維持しながら活動してきました。

年度初めと年度末に職員の退職と異動が重なり、途中新規を受けられない状況もありましたが、利用者の地域生活の継続を念頭に、さまざまな相談に対応してまいりました。宝塚市立病院に隣接していることもあり、病院からの退院支援の相談にも多く対応してまいりました。今後も利用者のニーズに合わせて、自立支援に基づいた相談援助を丁寧に行ってまいります。

(別添資料 P4)

#### (10) ステップいけのしまケアプランステーション

ステップいけのしまケアプランステーションはケアマネジャー5名体制で活動しています。少人数の事業所だからこそ、他のケアマネジャーの動きもわかり、協同しながら利用者支援に取り組んでいます。

ケアマネジャーの経験年数を重ね、2名が主任介護支援専門員研修へ参加し、業務をと

してさらなるスキルアップを目指しています。週1回の係内ミーティングでは、利用者、制度、サービスについて情報共有、学びを深めてまいりました。

今後お互いに研鑽しながら、事業所全体のレベルアップに努めてまいります。

(別添資料 P5)

#### (11) ステップさかせがわケアプランステーション

平成 29 年 4 月より 4 つ目の居宅介護支援事業所として、5 名体制で業務を開始いたしました。2 地区は高齢者人口・高齢化率共に高く、月平均 150 件の給付管理数を上げることができました。また、困難ケースなども積極的に対応し、事業所内でも相談や意見交換をしながら、利用者の望む暮らしに近づけるように支援を行ってまいりました。

しかしながら、同時に開設しました訪問看護・訪問介護サービス事業所が人員確保の問題から閉鎖することとなり、居宅介護支援事業所単独での継続も経営上難しいとの判断から、平成 30 年 2 月末日をもって閉鎖を決定しました。

殆どの利用者と職員 5 名につきましては、ステップこはまケアプランステーション・ステップごてんやまケアプランステーションに統合・集約を済ませております。

(別添資料 P6)

#### (12) ステップこはまヘルパーステーション

ステップこはまヘルパーステーションは、365 日 7:00 から 23:00 の営業で、訪問介護員 29 人(内介護福祉士 24 人)サービス提供責任者 6 人と管理者、事務員の体制で運営しました。

事業は介護保険事業、障害福祉サービス事業、その他は子育て支援の産後ヘルパー、養育支援、生活援助サービスや自費サービスです。

4 月からさかせがわヘルパーステーションが開設し、スタッフの異動に伴ない既存スタッフへの負担増となりましたが、皆一丸となり日々の業務に邁進して参りました。

介護保険事業の利用状況は、定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスとの兼務を行なっておりますが、要介護度に関わらず必要度の高い利用者に関しては積極的に受け入れを行ない、月平均 948 回訪問し前年度より訪問件数増となっております。

又、特定事業所加算 I の加算取得の為事業所内研修においては、チーム毎の研修発表を行ないました。介護技術に関しては必要に応じて個別指導等、個々のスキルアップに努めてきました。

さかせがわとの統合により良質なサービス提供と訪問件数の増加に繋げていけるよう月単位のシフト作成の導入を検討し、稼働率の改善・新規獲得に努めていきます。

(別添資料 P7)

(13) ステップさかせがわヘルパーステーション)

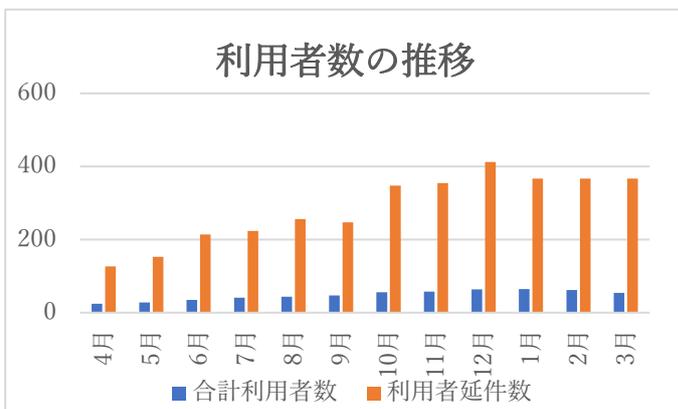
ステップさかせがわヘルパーステーションは、9時から17時30分の営業で、訪問介護員5人(内介護福祉士3人)サービス提供者2人と管理者の体制で運営しました。事業は介護保険事業、障害福祉サービス事業、その他は子育て支援の産後ヘルパー、生活援助サービスや自費サービスです。

新設のステーションとして、当初不安はありましたが訪問件数、延べ340件/月目標に新規受け入れも柔軟に対応していきました。第2地区において地域の事業所(居宅や地域包括支援センター)との繋がりを大事にしていきました。また、利用者ごとの報告書を作成し、毎月、事業所へ直接持参をして顔の見える関係作りに努めました。

利用者の受け持ちは主担当を決め固定にしました。その結果、利用者の信頼を得、その信頼と喜びはモチベーションのアップに繋がり、大変な状況を一丸となり乗り越えることができました。最終的に、諸事情により事業所は平成30年3月31日をもって廃止となりました。今後は、こはまヘルパーステーションとの統合により、良質なサービスの提供と訪問件数の増加、収支の黒字化を目指して努力してまいります。

〈 年間の訪問件数 〉

平成29年年度 逆瀬川ヘルパーステーションの月次報告												
利用統計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計利用者数	24	28	35	41	44	47	56	58	64	65	62	54
利用者延件数	127	153	214	224	256	247	348	355	412	367	367	367



平均利用者数 46件  
平均利用者延件数 286件

【 宝塚市 第2ブロックの特徴 】最も人口規模の大きな地域

人口 45,636人 65歳以上人口 11,886人 高齢化率 26%

介護・介助を必要としない元気な高齢者は 75.9% 介護・介助を必要とする割合は 13.8%

8割以上の高齢者は健康であることを自覚し、9割近くが1回/週以上は外出している。

要介護(要支援)認定者数 2,087人 宝塚市(8,767人)全体に対する比率 23.8%

(別添資料 P8)

#### (14) 池ノ島デイサービスセンター

平成 29 年度は年度初めに管理者の交代等があり、やや混乱する中のスタートとなりましたが徐々に落ち着きを見せご利用者様の体調管理ができるデイサービスを目標にご利用者様のサービスの向上に努めました。

ケア面においては専門職によるリハビリテーション、中重度者へのケアの充実を図り、利用者様個々のニーズに対応しながら、心身機能の維持、向上に努めました。また、月々のイベントや短時間利用の方への集団体操にも力を入れ、利用者様の満足の向上に努めました。

平成 29 年度の実績は利用延べ総人数 11,799 人、1日平均利用者数 38.2 人と昨年度を上回ることができましたが目標数値には至りませんでした。平成 30 年度の介護保険報酬改正に伴い利用者数の増員と利用効率等を再考していく必要があります。

今年度は 9 月にご利用者様が施設利用中に亡くられる事故がありました。家人様との信頼関係が構築できていたこともあり、労いの言葉を頂きましたが、関係機関への対応など反省する面も多くありました。この件を経験に安全対策を充実させ、快適な在宅生活・在宅介護を支援していけるよう取り組んでまいります。

#### (利用できる方)

介護保険法に基づく要介護認定において要支援 1,2 要介護 1～5 の認定を受けられた方

利用状況(平成 30 年 3 月 31 日)は別添資料のとおりです。

(別添資料 P9)

#### (15) ステップごてんやまりハビリクラブ

本年度は昨年度に引き続き 17.8 名の目標を掲げて運営してまいりました。年間延べ利用者数に関しては昨年度の 5400 名に対し今年度は 5389 名と大きな変化はありませんでしたが、結果は 17.5 名と目標数値を下回ってしまいました。特に 12 月からの稼働率が一気に低下しました。考えられる要因としては長期入院、長期自宅療養、当日欠席等、要支援2の方の週 1 回利用等が考えられます。登録数に関しては月曜日の午前・午後に 1 枠の空きが生じています。送迎範囲が狭く受け入れ調整に苦慮している状況にあります。来年度も引き続きスポット利用、振替利用の充実化を図っていききたいと思います。また経営面に関しては要支援:要介護の比率が現状 5.5:4.5 と要支援が要介護を上回っています。今後この傾向は続く事が大きいと考えられます。その事から要介護者の受け入れは登録状況にもよりますが柔軟に対応していく必要性があります。また、今年度は 5 周年記念行事を実施しました。今後もリハビリ以外の分野においても満足度の高いサービスの提供を行っていきたいと考えています。

また、地域への関わりとして運営推進会議の実施、隣接するあゆみ保育園との交流会、トライやるウィークの受け入れを来年度にも計画していきます。来年度も地域に開けたデイサービスになれるような取り組みを継続していきたいと考えています。

(別添資料 P10)

#### (16) ステップこはま24hケアステーション

宝塚市内初の定期巡回・随時対応型訪問介護看護として事業開始し、3年目に入りました。看護師を管理者とし、訪問介護・訪問看護職員は兼務として当事業に従事しています。新規受け入れは、両事業の人員体制の影響を受ける為積極的な獲得には至りませんでした。しかし、利用者数は16名から18名を推移しており、訪問看護、訪問介護からの移管ケースもありました。

当事業所は一体型の事業所として運営していますが、連携型(他法人訪問看護ステーション)の利用者も、多い時では3名利用されていました。連携型の場合、一体型とは違い、タイムリーな情報共有の難しさを学ぶことが出来ました。又、利用者の看取り・エンゼルケアを看護師、ヘルパーと一緒にしないスタッフの貴重な経験となっています。

介護・看護の両職種連携をより深めていく事を強みとし、ご利用者様及びご家族が、安心して在宅生活が継続できるよう支援していきます。

さらに、次年度の人員体制の立て直しを受け、ケアマネジャーとの連携を図り利用者獲得に努めていきたいと思っております。

(別添資料 P11)

#### (17) 御殿山地域包括支援センター

御殿山地域包括支援センターは、市からの受託事業として第3地区の高齢者の総合相談窓口として、また、地域包括ケア推進の中心的役割を担う機関として設置されています。

平成29年度も、多様な相談に対し、本人主体を重視しながら、家族、民生委員、自治会、ボランティアなどの地域住民や地域住民組織、商業施設、介護保険サービス事業所、社会福祉協議会等の関係機関、行政機関と連携して支援を行いました。

地域の見守りが必要な事例や支援困難な事例について、多様な主体が参加する地域ケア会議を開催しました。また、地域の支え合い、見守り活動、地域ネットワーク構築を進めるため、積極的に地域活動組織の会議に参画しました。また、民生委員との関係強化のため、民生委員、地区センターと共催で、3小学校区ごとに2回ずつ懇談会を開催しました。

昨年度に続き、認知症サポーターと専門職の有志によるグループ(宝塚オレンジロバネットワーク)に参画し、認知症理解・啓発を目的とした活動を行いました。具体的な活動として、参加型の認知症サポーター養成講座(3回シリーズ)を2回開催、プレミア祭にて子どもを対象に紙芝居やオレンジロバグッズを活用し啓発を行い、また、認知症の方や家族、支援者、一般市民がともに走ることで啓発を行う「ラン伴」に協力しました。実行委員にキャラバンメイト養成講座を受けていただき、また内部勉強会も行い、活動の質の向上を図りました。来年度は、ダイエー等の店舗向けの啓発にも力を入れたいと考えています。

ケアマネジャー支援として、全包括にて「気づきの事例検討会」、地区別活動の形で3・4・

7 地区のケアマネジャーの定期交流会、3・7 地区もしくは 3・4・7 地区合同で勉強会（虐待予防を含む）開催し、スキルアップとネットワーク構築、支援体制づくりをはかりました。昨年度開催した多職種連携を進めるための事例検討会のふり返りとスキルアップ研修の開催について、市に協力しました。また、個別にケアマネジャーからの相談を受け、地域の社会資源や制度などの情報提供、支援内容検討の協力、サービス担当者会議への参加など行いました。

権利擁護（虐待、消費者被害、成年後見制度）について、市、権利擁護支援センター、三職種、他機関との連携を密に取り対応しました。今年度は、市、権利擁護支援センター等ともに「事業所等向け高齢者虐待発見・防止のための手引き」等を作成しました。来年度は、当手引きも活用し事業所向けの勉強会を開催する予定です。

その他、地域の方々に予防的、主体的な対応力を持っていただくため、サロンやミニデイ、老人会、自治会などに積極的に出向き、介護予防に関する情報提供、いきいき百歳体操等の運動プログラムの提案、健康相談、権利擁護に関する話題提供等を行いました。

当年度の実施状況は、別紙のとおりです。

（別添資料 P12～13）

#### （18）小浜地域包括支援センター

小浜地域包括支援センターは、市からの受託事業として第4地区の高齢者の総合相談窓口として、また、地域包括ケア推進の中心的役割を担う機関として設置されています。

平成 29 年度も、地域の民生委員・児童委員との情報交換会の実施やまちづくり協議会、自治会などの地域住民や組織、介護保険サービス事業所、社会福祉協議会等の関係機関、行政機関と連携して相談援助活動等の支援を行いました。また、地域のネットワークの基盤である民生委員・児童委員との関係強化を図るため、地域の情報や課題の共有を行う交流会を合計4回実施しました。

地域住民に向けての活動では「いきいき百歳体操」の新規グループへの立ち上げサポートや既存グループへの月一回のフォローや地域のサロンでの健康講座を行いました。その他、公社が行う体操プログラムの紹介、社会福祉協議会との連携をはかり、介護予防の推進に積極的に取り組みました。又、昨年度は災害時要援護者制度が始まったことで災害時の関心が高まっており、各まちづくり協議会からの要請を受け、「避難所運営」についての防災訓練を共同して実施しました。

認知症に関する取り組みとして、SOSネットワークにおける地域ケア会議等の積極的な会議の開催や、昨年度に続き、美座小学校と小浜小学校の4年生や依頼のあった事業所を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症への理解を深める啓発活動を行いました。

ケアマネジャー支援として、全包括にて「気づきの事例検討会」、地区別活動の形で 3・4・7 地区のケアマネジャーの定期交流会、勉強会（虐待予防を含む）を開催し、ケアマネジャーのスキルアップとネットワーク構築、支援体制づくりをはかりました。また、個別にケアマネジャ

一からの相談を受け、地域の社会資源や制度などの情報提供、同行しての支援などの協力など行いました。

権利擁護(虐待、消費者被害、成年後見制度)について、市、権利擁護支援センター、三職種、他機関との連携を密に取り対応しました。今年度は、市、権利擁護支援センター等とともに「事業所向け高齢者虐待発見・防止のための手引き」等を作成しました。来年度は、当手引きも活用し事業所向けの勉強会を開催する予定です。

当年度の事業実績は別紙のとおりです。

(別添資料 P14～15)

#### (19) 視察等受入状況

##### ア) 視察・施設見学内容

###### ステップハウス宝塚

5月	一般社団法人宝塚市薬剤師会(学生)	10人
2月	宝塚市介護者家族の会「かなえの会」	15人
計 2件		25人

##### イ) 実習・体験学習受入内容

###### ステップハウス宝塚

4.4 ~ 4.7	自衛隊阪神病院准看護学院(看護)	5人
4.11 ~ 4.14	自衛隊阪神病院准看護学院(看護)	4人
4.18 ~ 4.21	自衛隊阪神病院准看護学院(看護)	5人
5.23 ~ 5.27	宝塚市立宝塚中学校「トライやるウィーク」	2人
5.31 ~ 6.7	宝塚市立看護専門学校(看護)	5人
6.14 ~ 6.20	大阪コミュニティワーカー専門学校Ⅱ部(介護)	1人
6.21 ~ 6.28	宝塚市立看護専門学校(看護)	6人
7.12 ~ 7.20	宝塚市立看護専門学校(看護)	7人
6.12 ~ 7.7	介護職員初任者研修	3人
8.21 ~ 8.25	学校法人 行吉学園 神戸女子大学(栄養士)	2人
8.30 ~ 9.6	宝塚市立看護専門学校(看護)	6人
9.20 ~ 9.27	宝塚市立看護専門学校(看護)	6人
9.26 ~ 9.28	神戸大学医学部	1人
10.2 ~ 10.6	兵庫教育大学(教職課程)	1人
10.24 ~ 12.1	介護職員初任者研修	7人
10.18 ~ 10.25	宝塚市立看護専門学校(看護)	5人

12.11 ~ 12.15	関西学院大学(教職課程)	1人
2.13 ~ 2.14	甲南女子大学(教職課程)	2人
計 18 件		69人

池ノ島デイサービスセンター

5.15 ~ 5.19	宝塚市立宝塚中学校トライやるウィーク	1人
計 1 件		1人

ステップこはま訪問看護ステーション

5.15 ~ 5.18	宝塚市立看護専門学校	2人
6.9 6.12 ~ 6.15	神戸大学医学部	2人
6.9 6.19 ~ 6.22	神戸大学医学部	2人
7.18 ~ 7.21	宝塚市立看護専門学校	2人
7.25	社会福祉実習(御殿山包括)	1人
9.25 ~ 9.28	宝塚市立看護専門学校	1人
10.23 ~ 10.26	宝塚市立看護専門学校	2人
11.6 ~ 11.8	宝塚市立病院	1人
11.13 ~ 11.15	宝塚市立病院	1人
2.14 ~ 2.15	宝塚リハビリテーション病院	1人
3.15 ~ 3.16	宝塚リハビリテーション病院	1人
計 11 件		16人

ステップこはま訪問看護ステーションサテライトさかさがわ

6.5 ~ 6.8	宝塚市立看護専門学校	2人
6.26 ~ 6.29	宝塚市立看護専門学校	2人
9.4 ~ 9.7	宝塚市立看護専門学校	2人
計 3 件		6人

ステップこはまヘルパーステーション

6.12 ~ 7.7	介護職員初任者研修	3人
10.24 ~ 12.1	介護職員初任者研修	7人
5.15 ~ 6.1	宝塚市認定生活支援ヘルパーA型研修	20人
7.26 ~ 8.18	宝塚市認定生活支援ヘルパーA型研修	22人

9.13 ~ 9.14	宝塚市認定生活支援ヘルパーA型研修	3人
12.18 ~ 12.26	宝塚市認定生活支援ヘルパーA型研修	8人
1.17 ~ 1.25	宝塚市認定生活支援ヘルパーA型研修	7人
2.14 ~ 3.2	宝塚市認定生活支援ヘルパーA型研修	14人
計 8 件		84人

ステップこはまケアプランステーション

5.11 ~ 5.12	宝塚市立看護専門学校	1人
6.22 ~ 6.23	宝塚市立看護専門学校	1人
7.13 ~ 7.14	宝塚市立看護専門学校	1人
8.31 ~ 9.1	宝塚市立看護専門学校	1人
9.21 ~ 9.22	宝塚市立看護専門学校	1人
10.19 ~ 10.20	宝塚市立看護専門学校	1人
計 6 件		6人

ステップごてんやまケアプランステーション

4.12・18・19 5.2	介護支援専門員見学実習	1人
6.1 ~ 6.2	宝塚市立看護専門学校	1人
6.22 ~ 6.23	宝塚市立看護専門学校	1人
7.13 ~ 7.14	宝塚市立看護専門学校	1人
8.31 ~ 9.1	宝塚市立看護専門学校	1人
9.21 ~ 9.22	宝塚市立看護専門学校	1人
10.19 ~ 10.20	宝塚市立看護専門学校	1人
計 7 件		7人

ステップいけのしまケアプランステーション

4.7	介護支援専門員実務研修	1人
4.18	介護支援専門員実務研修	1人
4.28	介護支援専門員実務研修	1人
計 3 件		3人

小浜地域包括支援センター

5.9 ～ 5.10	宝塚市立看護専門学校	1人
計 1 件		1人

御殿山地域包括支援センター

5.9 ～ 5.10	宝塚市立看護専門学校	1人
5.30 ～ 5.31	宝塚市立看護専門学校	1人
6.20 ～ 6.21	宝塚市立看護専門学校	1人
7.4 ～ 8.31	日本福祉大学	1人
7.11 ～ 7.12	宝塚市立看護専門学校	1人
8.29 ～ 8.30	宝塚市立看護専門眼光	1人
9.4 ～ 10.6	日本福祉大学	1人
9.19 ～ 9.20	宝塚市立看護専門学校	1人
10.17 ～ 10.18	宝塚市立看護専門学校	1人
計 9 件		9人

通所型介護予防事業

5.12	宝塚市立看護専門学校	1人
5.13	宝塚市立看護専門学校	1人
計 2 件		2人

(20) シルバーハウジング生活援助員派遣事業

当事業は、宝塚市からの受託事業で、緊急通報システム付きのシルバーハウジングを生活援助員が毎日巡回訪問し安否確認を行っています。入居者の高齢化は変わらず自治管理は困難な状況で相談援助も増えてきており、地域包括支援センターとの連携を随時行っています。また、平成27年度よりSCSから依頼の福井住宅2件の訪問も引き続き行っております。

平成 29 年度に緊急通報システム装置本体の入れ替えを予定していましたが、延期になっております。体操の会、LSA 主催のレクリエーションは継続して行っております。

地域交流会

\* 池ノ島第2住宅・泉町住宅他 「ゆのゆの水曜会」

第1・3水曜日体操(運動指導員) 第2・4水曜日レクリエーション(LSA)

\* 亀井・亀井第1・2・3住宅 「おしゃべり会」

月1回第2金曜日

宝塚市社会福祉協議会・小林地域包括支援センター主催 LSA協力

(別添資料 P16)

(21)ファミリーサポートセンター事業

#### ア 育児支援

ファミリーサポートセンター(育児)事業は、宝塚市からの受託事業で、子育て中の家庭を支えるため、仕事と家庭両立支援特別援助事業として、「育児の援助を受けたい人」と「育児の援助を行いたい人」がお互い会員となって、地域において相互援助活動を行っています。

平成28年より、アドバイザー3人制で月曜日から土曜日の週6日を開所とし、必要とされるサポートを伺い、お困りのどの部分をサポートできる方へ依頼するかを一緒に考え、きめ細やかな対応を心がけ運営しております。

最近の傾向としましては、市内に保育所、学童保育が充実してきたことにより、件数は少し減っていますが、産後の職場復帰の子育てサポートや発達障がいをもったお子さんの送迎等での依頼、そして勤務形態が多様化から日祝日にお仕事に出る方が多くなった為、日曜日や祝日の依頼も増えております。

活動料金(報酬)は下表を基準とした有償ボランティアであり、交通費については実費、その他かかった費用についても依頼会員が支払います。

#### ○会員

**依頼会員**・・・宝塚市在住、在勤及び伊丹市、川西市、猪名川町、三田市在住で0才から小学6年生の子どもがいる人

**提供会員**・・・子どもの好きな人、育児経験のある人

**両方会員**・・・提供と依頼のどちらでもできる人

#### ○活動報酬

内容	1時間当たりの報酬額
基本時間 7:00～20:00	700 円
上記時間以外	900 円
軽度の病気	900 円

(別添資料 P17～18)

## (22)介護ファミリーサポートセンター事業

### ① 事業内容

ファミリーサポートセンター(介護)事業は、宝塚市からの受託事業であり、高齢者等に対する簡易で、補助的な援助を行う会員同士の相互援助活動です。

援助内容は、高齢者等が日常生活を送る上で、なんらかの手助けがあれば地域で自立して生活できる際の援助、病気怪我などの際の援助、その他センターで認める範囲内で必要な援助を行います。

最近では介護保険で対応できない同居家族の居る世帯の援助や、認知症の方の見守り等の活動が増えています。事務所への問合せ先としましては、各地域包括支援センターやケアマネジャーからの依頼が一番多く、次にご家族から直接電話での問い合わせも増えてきました。

利用料金(報酬)は下表を基準とした有償ボランティアであり、交通費については、実費、その他かかった費用についても依頼会員が支払います。

### ○活動報酬

活動時間	1時間あたりの報酬額
基本時間 7:00～20:00	700円
上記時間以外	900円

**年会費**・・・依頼会員は年会費が必要。入会時および年度ごとの更新時に、4月～翌年3月分の会費として3,600円。10月～3月の間に新規入会された方は、その年度に限り年会費を半額(1,800円)とする。

### ○会員

**依頼会員**・・・市内に住んでいる概ね65歳以上の高齢者で援助が必要な方

**提供会員**・・・依頼会員の要望に応じて、介護に関する相互援助活動を行いたい方

(別添資料 P19)

## (23)言語訓練事業(話学会)

当事業は、宝塚市からの受託事業で言語療法士が主体となり集団での言語療法を行っています。また会場責任者として理学療法士・作業療法士が同席しています。

平成29年度は登録者が2名減8名となりました。実際の参加者数は6名～3名と幅があり、平均は4.8名となっています。平成30年度はサービスを必要とされる方に利用していただける

よう関係各所に働きかけるとともに、円滑、安全に運営できるよう努めてまいります。

(利用できる方)40歳以上の者で脳血管障害後遺症などにより言語障害を有する者で医療  
終了後も言語訓練が必要な方

(会場)市内1会場において実施

火(1回/月):総合福祉センター

(別添資料 P20)

#### (24)介護予防普及啓発事業(いきいき百歳体操)

当事業は、宝塚市の事業で高知県高知市発祥の介護予防運動「いきいき百歳体操」を地域住民が主体となって取り組んでいただく事業であり、運動の指導と管理の為に理学療法士・作業療法士と看護師を派遣しています。

平成29年度は会場数も65会場から37会場増え、102会場となりました。宝塚市としては市内160か所を目標としており、今後も会場数の増加が予想されます。宝塚市高齢福祉課、各地域包括支援センターと協力し、介護予防事業を安全かつ効率的に運営できるよう努めてまいります。

(別添資料 P20)

#### (25)ステップはつらつ体操教室

当事業は、はつらつ高齢者の会事業の受け皿事業(高齢者のための体操教室)として平成27年度7月より4会場で開始しました。運動指導のために運動指導員と理学療法士・作業療法士を派遣しています。平成29年度は9会場で実施、平成30年度4月より1会場増え、10会場になる予定です。現在175名の方が登録され介護予防に取り組んでおられます。次年度も宝塚市の介護予防の一翼を担えるよう努めてまいります。

(別添資料 P20)

#### (26)認定調査ステーション

宝塚市から委託を受け「事務受託法人」として要介護認定を受けようとする介護保険被保険者に対して、市内全域の新規申請者及び担当地域の更新・区分変更申請者の認定調査業務を行ってきました。

今年度も、介護保険制度の最初の入り口として、わかりやすい言葉の使用を意識して制度の説明や応対を実施しています。また、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携をはかり、援助の必要な方々への訪問調査を行いました。

市外地に住所があり、宝塚市にお住まいの方々の更新申請依頼にも、積極的に対応してまいります。

今後も利用者に親切で丁寧な対応を目指し、調査を行ってまいります。

(別添資料 P21)

#### (27)ステップ相談支援センター ベルフラワー

業務を開始してから、1年が経ちました。新規相談については途切れることなく、平成29年度中は167件の相談を受付けました。また、オープンしてから、継続して計画を作成させていただいている件数は、平成30年3月末で161件となりました。

平成29年7月、当初予想していた通り、児童の担当ケースの数が成人の担当ケース数を逆転しました。また、行政機関から支援困難事例の計画作成打診も、コンスタントにいただきますが、初回面談日程を暫く待ついただく状況も出てきています。

平成30年4月からは、一般相談支援事業者として兵庫県へ届出を行い、市からの委託業務を受けることにもなりました。また、法改正に伴い、例えばモニタリング回数の増加を求められるなど、仕事の仕方も変わってくるのが予想されます。ベルフラワーにおいては、平成30年度の職員体制を増員、強化することができたことから、ますます、市民の方の権利が守られる計画相談支援事業所として、対応していく必要があると考えています。

(別添資料 P22)

平成29年度  
決算報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

# 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	100,105	200,728	△ 100,623
基本財産受取利息	100,105	200,728	△ 100,623
特定資産運用益	44,773	80,040	△ 35,267
特定資産受取利息	44,773	80,040	△ 35,267
受取会費	635,400	644,400	△ 9,000
事業収益	1,244,908,128	1,222,994,521	21,913,607
受取補助金等	4,594,490	4,980,823	△ 386,333
受取助成金	1,850,000	490,000	1,360,000
受取補助金	1,195,750	2,497,250	△ 1,301,500
受取補助金等振替額	1,548,740	1,993,573	△ 444,833
受取寄附金	153,000	4,000	149,000
雑収益	4,026,695	3,555,217	471,478
経常収益計	1,254,462,591	1,232,459,729	22,002,862
(2) 経常費用			
事業費	1,220,750,600	1,193,763,525	26,987,075
給料手当	439,303,803	437,985,291	1,318,512
臨時雇賃金	349,758,070	326,946,191	22,811,879
法定福利費	119,647,789	111,934,644	7,713,145
賞与引当金繰入額	47,987,122	47,401,734	585,388
退職給付費用	30,336,420	30,521,927	△ 185,507
福利厚生費	2,574,094	2,578,478	△ 4,384
採用費	292,140	145,190	146,950
職員被服費	1,403,310	490,271	913,039
旅費交通費	703,874	465,097	238,777
通信運搬費	9,909,177	9,061,099	848,078
減価償却費	15,137,482	14,807,940	329,542
消耗品費	16,351,578	20,374,034	△ 4,022,456
医薬品費	4,784,011	4,086,565	697,446
食糧費	2,008,660	1,314,299	694,361
修繕費	2,971,191	3,292,994	△ 321,803
印刷製本費	1,002,334	891,206	111,128
燃料費	3,937,345	3,626,417	310,928
光熱水料費	37,246,636	32,221,452	5,025,184
賃借料	31,874,416	28,489,507	3,384,909
保険料	3,701,275	3,592,516	108,759
支払負担金	59,000	59,000	0
諸謝金	157,348	171,776	△ 14,428
租税公課	5,485,667	5,130,152	355,515
報償費	180,000	180,000	0
委託費	89,378,428	103,703,200	△ 14,324,772
会議費	149,124	28,940	120,184
地域交流費	111,692	258,102	△ 146,410
研修費	1,106,350	1,467,188	△ 360,838
諸会費	742,000	772,743	△ 30,743
渉外費	4,720	5,044	△ 324
手数料	2,370,751	1,749,110	621,641
雑費	74,793	11,418	63,375

# 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費	68,164,912	46,749,140	21,415,772
役員報酬	4,983,380	6,788,140	△ 1,804,760
給料手当	27,059,594	10,169,330	16,890,264
臨時雇賃金	4,000,671	485,566	3,515,105
法定福利費	3,144,538	1,987,665	1,156,873
賞与引当金繰入額	1,337,846	829,914	507,932
退職給付費用	974,259	713,134	261,125
福利厚生費	470,601	173,273	297,328
採用費	8,021,888	8,694,868	△ 672,980
職員被服費	79,142	15,086	64,056
旅費交通費	97,090	22,751	74,339
通信運搬費	70,228	91,197	△ 20,969
減価償却費	73,799	36,332	37,467
消耗品費	953,917	485,110	468,807
食糧費	18,328	0	18,328
修繕費	546,659	155,306	391,353
印刷製本費	459,146	31,385	427,761
燃料費	12,618	9,593	3,025
光熱水料費	265,445	168,621	96,824
賃借料	1,589,175	652,964	936,211
保険料	254,892	59,896	194,996
諸謝金	2,813,845	1,316,983	1,496,862
租税公課	2,581,014	2,618,264	△ 37,250
委託費	6,601,730	9,168,120	△ 2,566,390
研修費	829,344	75,946	753,398
諸会費	303,080	136,937	166,143
渉外費	107,940	5,292	102,648
手数料	422,829	1,820,780	△ 1,397,951
支払利息	77,500	27,227	50,273
雑費	14,414	9,460	4,954
經常費用計	1,288,915,512	1,240,512,665	48,402,847
当期經常増減額	△ 34,452,921	△ 8,052,936	△ 26,399,985
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
固定資産除却損	406,279	852,220	△ 445,941
その他臨時費用	643,570	0	643,570
經常外費用計	1,049,849	852,220	197,629
当期經常外増減額	△ 1,049,849	△ 852,220	△ 197,629
税引前当期一般正味財産増減額	△ 35,502,770	△ 8,905,156	△ 26,597,614
法人税、住民税及び事業税	82,000	3,711,900	△ 3,629,900
当期一般正味財産増減額	△ 35,584,770	△ 12,617,056	△ 22,967,714
一般正味財産期首残高	324,273,534	336,890,590	△ 12,617,056
一般正味財産期末残高	288,688,764	324,273,534	△ 35,584,770
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 1,548,740	△ 1,993,573	444,833
当期指定正味財産増減額	△ 1,548,740	△ 1,993,573	444,833
指定正味財産期首残高	204,744,114	206,737,687	△ 1,993,573
指定正味財産期末残高	203,195,374	204,744,114	△ 1,548,740
III 正味財産期末残高	491,884,138	529,017,648	△ 37,133,510

# 正味財産増減計算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位：円)

科 目	実施事業等会計			小計	その他会計		法人会計	合計
	継1	継2	継3		他1	小計		
	教育・啓発事業	地域福祉サポート事業	認定調査事業		介護保険事業			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>								
<b>1. 経常増減の部</b>								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	100,105	100,105
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	100,105	100,105
特定資産運用益	0	0	0	0	44,773	44,773	0	44,773
特定資産受取利息	0	0	0	0	44,773	44,773	0	44,773
受取会費	0	635,400	0	635,400	0	0	0	635,400
事業収益	1,990,340	43,688,219	28,188,258	73,866,817	1,171,041,311	1,171,041,311	0	1,244,908,128
受取補助金等	0	0	0	0	4,594,490	4,594,490	0	4,594,490
受取助成金	0	0	0	0	1,850,000	1,850,000	0	1,850,000
受取補助金	0	0	0	0	1,195,750	1,195,750	0	1,195,750
受取補助金等振替額	0	0	0	0	1,548,740	1,548,740	0	1,548,740
受取寄附金	0	0	0	0	153,000	153,000	0	153,000
雑収益	0	0	203,000	203,000	3,771,622	3,771,622	52,073	4,026,695
経常収益計	1,990,340	44,323,619	28,391,258	74,705,217	1,179,605,196	1,179,605,196	152,178	1,254,462,591
(2) 経常費用								
事業費	10,793,366	53,800,088	28,572,388	93,165,840	1,127,584,760	1,127,584,760	0	1,220,750,600
給料手当	8,954,755	16,565,246	597,125	26,117,127	413,186,677	413,186,677	0	439,303,803
臨時雇賃金	107,331	20,159,465	23,941,522	44,208,318	305,549,751	305,549,751	0	349,758,070
法定福利費	677,836	5,738,080	1,504,863	7,920,779	111,727,010	111,727,010	0	119,647,789
賞与引当金繰入額	35,892	2,196,855	1,191,458	3,424,205	44,562,917	44,562,917	0	47,987,122
退職給付費用	26,138	1,268,445	70,777	1,365,359	28,971,062	28,971,062	0	30,336,420
福利厚生費	0	149,252	133,875	283,127	2,290,967	2,290,967	0	2,574,094
採用費	292,140	0	0	292,140	0	0	0	292,140
職員被服費	0	50,759	46,180	96,939	1,306,371	1,306,371	0	1,403,310
旅費交通費	0	17,880	5,380	23,260	680,614	680,614	0	703,874
通信運搬費	101,388	1,290,376	233,282	1,625,046	8,284,131	8,284,131	0	9,909,177
減価償却費	0	296,624	26,577	323,201	14,814,281	14,814,281	0	15,137,482
消耗品費	139,827	704,010	112,311	956,149	15,395,430	15,395,430	0	16,351,578
医薬品費	0	0	0	0	4,784,011	4,784,011	0	4,784,011
食糧費	0	19,542	0	19,542	1,989,118	1,989,118	0	2,008,660
修繕費	179	23,220	68,800	92,198	2,878,993	2,878,993	0	2,971,191
印刷製本費	282,280	418,676	3,424	704,380	297,954	297,954	0	1,002,334
燃料費	15,339	52,089	65,229	132,656	3,804,689	3,804,689	0	3,937,345
光熱水料費	4,017	189,400	10,878	204,296	37,042,340	37,042,340	0	37,246,636
賃借料	8,490	765,697	264,778	1,038,966	30,835,450	30,835,450	0	31,874,416
保険料	64,302	924,139	81,068	1,069,510	2,631,765	2,631,765	0	3,701,275
支払負担金	0	59,000	0	59,000	0	0	0	59,000
諸謝金	186	131,642	505	132,334	25,015	25,015	0	157,348
租税公課	66,146	268,061	179,112	513,319	4,972,348	4,972,348	0	5,485,667
報償費	0	180,000	0	180,000	0	0	0	180,000
委託費	4,172	1,691,734	4,528	1,700,434	87,677,994	87,677,994	0	89,378,428
会議費	0	149,124	0	149,124	0	0	0	149,124
地域交流費	0	111,692	0	111,692	0	0	0	111,692
研修費	0	0	0	0	1,106,350	1,106,350	0	1,106,350
諸会費	0	0	0	0	742,000	742,000	0	742,000
渉外費	0	0	0	0	4,720	4,720	0	4,720
手数料	12,946	379,079	30,717	422,742	1,948,009	1,948,009	0	2,370,751
雑費	0	0	0	0	74,793	74,793	0	74,793
管理費	0	0	0	0	0	0	68,164,912	68,164,912
役員報酬	0	0	0	0	0	0	4,983,380	4,983,380
給料手当	0	0	0	0	0	0	27,059,594	27,059,594
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	4,000,671	4,000,671
法定福利費	0	0	0	0	0	0	3,144,538	3,144,538
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	1,337,846	1,337,846
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	974,259	974,259
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	470,601	470,601
採用費	0	0	0	0	0	0	8,021,888	8,021,888
職員被服費	0	0	0	0	0	0	79,142	79,142
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	97,090	97,090
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	70,228	70,228
減価償却費	0	0	0	0	0	0	73,799	73,799
消耗品費	0	0	0	0	0	0	953,917	953,917
食糧費	0	0	0	0	0	0	18,328	18,328
修繕費	0	0	0	0	0	0	546,659	546,659
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	459,146	459,146
燃料費	0	0	0	0	0	0	12,618	12,618
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	265,445	265,445
賃借料	0	0	0	0	0	0	1,589,175	1,589,175
保険料	0	0	0	0	0	0	254,892	254,892
諸謝金	0	0	0	0	0	0	2,813,845	2,813,845
租税公課	0	0	0	0	0	0	2,581,014	2,581,014
委託費	0	0	0	0	0	0	6,601,730	6,601,730
研修費	0	0	0	0	0	0	829,344	829,344
諸会費	0	0	0	0	0	0	303,080	303,080
渉外費	0	0	0	0	0	0	107,940	107,940
手数料	0	0	0	0	0	0	422,829	422,829
支払利息	0	0	0	0	0	0	77,500	77,500
雑費	0	0	0	0	0	0	14,414	14,414
経常費用計	10,793,366	53,800,088	28,572,388	93,165,841	1,127,584,760	1,127,584,760	68,164,912	1,288,915,512
当期経常増減額	△ 8,803,026	△ 9,476,469	△ 181,130	△ 18,460,624	52,020,436	52,020,436	△ 68,012,734	△ 34,452,921
<b>2. 経常外増減の部</b>								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	0	1	0	1	406,277	406,277	1	406,279
その他臨時費用	0	0	0	0	0	0	643,570	643,570
経常外費用計	0	1	0	1	406,277	406,277	643,571	1,049,849
当期経常外増減額	0	△ 1	0	△ 1	△ 406,277	△ 406,277	△ 643,571	△ 1,049,849
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,803,026	△ 9,476,470	△ 181,130	△ 18,460,625	51,614,159	51,614,159	△ 68,656,305	△ 35,502,770
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	82,000	82,000
当期一般正味財産増減額	△ 8,803,026	△ 9,476,470	△ 181,130	△ 18,460,625	51,614,159	51,614,159	△ 68,738,305	△ 35,584,770
<b>II 指定正味財産増減の部</b>								
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	△ 1,548,740	△ 1,548,740	0	△ 1,548,740
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	△ 1,548,740	△ 1,548,740	0	△ 1,548,740





正味財産増減計算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位：円)

科 目	その他会計						小計	法人会計	合計
	他1								
	はつらつ 通所介護	定期巡回	ベルフラワー	御殿山地域包括	小浜地域包括	介護保険事業			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	100,105	100,105
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	100,105	100,105
特定資産運用益	0	44,773	0	0	0	44,773	44,773	0	44,773
特定資産受取利息	0	44,773	0	0	0	44,773	44,773	0	44,773
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	635,400
事業収益	32,660,889	40,330,318	6,746,117	50,877,277	36,244,687	1,171,041,311	1,171,041,311	0	1,244,908,128
受取補助金等	56,879	2,842,964	31,335	37,492	20,440	4,594,490	4,594,490	0	4,594,490
受取助成金	56,879	98,474	31,335	37,492	20,440	1,850,000	1,850,000	0	1,850,000
受取補助金	0	1,195,750	0	0	0	1,195,750	1,195,750	0	1,195,750
受取補助金等振替額	0	1,548,740	0	0	0	1,548,740	1,548,740	0	1,548,740
受取寄附金	3,167	5,483	1,745	2,087	1,138	153,000	153,000	0	153,000
雑収益	0	28,960	0	6,894	0	3,771,622	3,771,622	52,073	4,026,695
経常収益計	32,720,934	43,252,497	6,779,196	50,923,751	36,266,265	1,179,605,196	1,179,605,196	152,178	1,254,462,591
(2) 経常費用									
事業費	32,397,907	46,827,048	16,304,787	49,153,827	34,181,890	1,127,584,760	1,127,584,760	0	1,220,750,600
給料手当	10,156,588	16,465,224	4,855,665	21,584,118	16,410,078	413,186,677	413,186,677	0	439,303,803
臨時雇賃金	10,585,819	19,446,113	6,571,452	12,839,896	7,272,593	305,549,751	305,549,751	0	349,758,070
法定福利費	3,115,007	4,743,587	1,884,650	5,199,165	4,141,993	111,727,010	111,727,010	0	119,647,789
賞与引当金繰入額	1,400,404	1,971,566	500,127	2,162,553	1,588,459	44,562,917	44,562,917	0	47,987,122
退職給付費用	756,667	1,017,409	332,359	1,714,396	1,186,459	28,971,062	28,971,062	0	30,336,420
福利厚生費	55,127	30,078	21,373	104,197	64,192	2,290,967	2,290,967	0	2,574,094
採用費	0	0	0	0	0	0	0	0	292,140
職員被服費	30,628	5,184	47,410	71,582	50,209	1,306,371	1,306,371	0	1,403,310
旅費交通費	0	5,340	58,010	29,550	37,190	680,614	680,614	0	703,874
通信運搬費	219,888	251,546	193,880	749,159	524,519	8,284,131	8,284,131	0	9,909,177
減価償却費	676,352	1,561,574	89,162	74,073	68,284	14,814,281	14,814,281	0	15,137,482
消耗品費	299,994	163,586	456,241	322,734	341,997	15,395,430	15,395,430	0	16,351,578
医薬品費	0	0	0	0	0	4,784,011	4,784,011	0	4,784,011
食糧費	196,416	0	0	0	2,948	1,989,118	1,989,118	0	2,008,660
修繕費	52,357	20,588	18,785	36,306	46,299	2,878,993	2,878,993	0	2,971,191
印刷製本費	2,894	5,010	1,594	13,788	12,920	297,954	297,954	0	1,002,334
燃料費	342,990	32,931	48,122	75,010	48,068	3,804,689	3,804,689	0	3,937,345
光熱水料費	379,887	15,920	5,066	172,208	183,304	37,042,340	37,042,340	0	37,246,636
賃借料	3,257,057	608,175	1,009,062	3,263,546	1,890,298	30,835,450	30,835,450	0	31,874,416
保険料	161,609	28,012	46,191	139,490	98,954	2,631,765	2,631,765	0	3,701,275
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	59,000
諸謝金	427	739	235	5,849	5,721	25,015	25,015	0	157,348
租税公課	151,403	262,124	83,409	100,299	54,408	4,972,348	4,972,348	0	5,485,667
報償費	0	0	0	0	0	0	0	0	180,000
委託費	430,764	110,103	2,109	379,383	5,515	87,677,994	87,677,994	0	89,378,428
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	149,124
地域交流費	0	0	0	0	0	0	0	0	111,692
研修費	0	7,500	65,500	27,600	107,240	1,106,350	1,106,350	0	1,106,350
諸会費	3,300	3,300	0	0	0	742,000	742,000	0	742,000
渉外費	0	0	0	0	0	4,720	4,720	0	4,720
手数料	122,331	71,440	14,384	88,927	40,243	1,948,009	1,948,009	0	2,370,751
雑費	0	0	0	0	0	74,793	74,793	0	74,793
管理費	0	0	0	0	0	0	0	68,164,912	68,164,912
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	4,983,380	4,983,380
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	27,059,594	27,059,594
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	4,000,671	4,000,671
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	3,144,538	3,144,538
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	1,337,846	1,337,846
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	974,259	974,259
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	470,601	470,601
採用費	0	0	0	0	0	0	0	8,021,888	8,021,888
職員被服費	0	0	0	0	0	0	0	79,142	79,142
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	97,090	97,090
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	70,228	70,228
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	73,799	73,799
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	953,917	953,917
食糧費	0	0	0	0	0	0	0	18,328	18,328
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	546,659	546,659
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	459,146	459,146
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	12,618	12,618
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	265,445	265,445
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	1,589,175	1,589,175
保険料	0	0	0	0	0	0	0	254,892	254,892
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	2,813,845	2,813,845
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	2,581,014	2,581,014
委託費	0	0	0	0	0	0	0	6,601,730	6,601,730
研修費	0	0	0	0	0	0	0	829,344	829,344
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	303,080	303,080
渉外費	0	0	0	0	0	0	0	107,940	107,940
手数料	0	0	0	0	0	0	0	422,829	422,829
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	77,500	77,500
雑費	0	0	0	0	0	0	0	14,414	14,414
経常費用計	32,397,907	46,827,048	16,304,787	49,153,827	34,181,890	1,127,584,760	1,127,584,760	68,164,912	1,288,915,512
当期経常増減額	323,027	△ 3,574,550	△ 9,525,591	1,769,923	2,084,375	52,020,436	52,020,436	△ 68,012,734	△ 34,452,921
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	0	0	0	0	406,277	406,277	1	406,279
その他臨時費用	0	0	0	0	0	0	0	643,570	643,570
経常外費用計	0	0	0	0	0	406,277	406,277	643,571	1,049,849
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	△ 406,277	△ 406,277	△ 643,571	△ 1,049,849
税引前当期一般正味財産増減額	323,027	△ 3,574,550	△ 9,525,591	1,769,923	2,084,375	51,614,159	51,614,159	△ 68,656,305	△ 35,502,770
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	82,000	82,000
当期一般正味財産増減額	323,027	△ 3,574,550	△ 9,525,591	1,769,923	2,084,375	51,614,159	51,614,159	△ 68,738,305	△ 35,584,770
II 指定正味財産増減の部									
一般正味財産への振替額	0	△ 1,548,740	0	0	0	△ 1,548,740	△ 1,548,740	0	△ 1,548,740
当期指定正味財産増減額	0	△ 1,548,740	0	0	0	△ 1,548,740	△ 1,548,740	0	△ 1,548,740

# 貸借対照表

平成30年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	88,977,822	57,705,556	31,272,266
未収金	181,560,995	182,531,208	△ 970,213
未収収益	39,587	46,275	△ 6,688
前払費用	423,000	788,600	△ 365,600
前払替払	2,753,804	3,425,848	△ 672,044
立金	110,320	80,378	29,942
仮替払	46,155	48,080	△ 1,925
流動資産合計	273,911,683	244,625,945	29,285,738
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
定期預金	200,000,000	200,000,000	0
基本財産合計	200,000,000	200,000,000	0
<b>(2) 特定資産</b>			
能力開発積立資産	11,711,089	12,148,629	△ 437,540
減価償却積立資産	40,000,000	69,083,682	△ 29,083,682
修繕積立資産	59,915,411	83,845,611	△ 23,930,200
車両運搬具	17,972	53,968	△ 35,996
什器備品	838,750	1,383,780	△ 545,030
ソフトウェア	2,338,652	3,306,366	△ 967,714
特定資産合計	114,821,874	169,822,036	△ 55,000,162
<b>(3) その他固定資産</b>			
建物附属設備	3,074,708	3,272,427	△ 197,719
構築物	32,555,829	29,154,702	3,401,127
車両運搬具	9,800,821	12,004,451	△ 2,203,630
什器備品	6,093,838	2,542,984	3,550,854
ソフトウェア	11,362,151	9,778,451	1,583,700
敷金	849,661	1,730,776	△ 881,115
敷金	583,000	583,000	0
保出証券	698,000	698,000	0
出資金	100,000	100,000	0
その他固定資産合計	65,118,008	59,864,791	5,253,217
固定資産合計	379,939,882	429,686,827	△ 49,746,945
資産合計	653,851,565	674,312,772	△ 20,461,207
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	67,341,545	61,779,107	5,562,438
未払法人税等	82,000	3,711,900	△ 3,629,900
未払消費税	2,246,200	3,717,800	△ 1,471,600
未払費用	18,901,802	18,230,837	670,965
前受金	0	57,600	△ 57,600
預り金	15,611,699	7,655,063	7,956,636
賞与引当金	49,324,968	48,231,648	1,093,320
1年内返済予定リース債務	1,804,698	667,126	1,137,572
流動負債合計	155,312,912	144,051,081	11,261,831
<b>2. 固定負債</b>			
リース債務	6,654,515	1,244,043	5,410,472
固定負債合計	6,654,515	1,244,043	5,410,472
負債合計	161,967,427	145,295,124	16,672,303
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
定期預金	200,000,000	200,000,000	0
車両運搬具	17,972	53,968	△ 35,996
什器備品	838,750	1,383,780	△ 545,030
ソフトウェア	2,338,652	3,306,366	△ 967,714
指定正味財産合計	203,195,374	204,744,114	△ 1,548,740
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(3,195,374)	(4,744,114)	△ 1,548,740
<b>2. 一般正味財産</b>			
一般正味財産	288,688,764	324,273,534	△ 35,584,770
(うち特定資産への充当額)	(111,626,500)	(165,077,922)	△ 53,451,422
正味財産合計	491,884,138	529,017,648	△ 37,133,510
負債及び正味財産合計	653,851,565	674,312,772	△ 20,461,207

## 財産目録

平成30年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>				
現金 預金  未収金 未収収益 前払金 前払費用 立替金 仮払金	現金	手元保管	306,705	
	預金	郵便貯金	運転資金として	306,705
		郵便貯金 (1120-3-68145)	運転資金として	797,848
	普通預金 三菱東京UFJ銀行 宝塚中山支店(3680612)			87,873,269
		87,579,665		
	尼崎信用金庫 宝塚支店(358308)			6,368
		213,612		
	尼崎信用金庫 宝塚支店(440244)			73,624
		181,560,995		
	池田泉州銀行 逆瀬川支店(91177)			39,587
主として介護報酬等 定期預金利息の未収分			423,000	
4月分の前払家賃・駐車場代 保険料、システム保守料 他			2,753,804	
提供会員報酬等の立替払い	依頼会員、職員等に対する		110,320	
仮払金			46,155	
<b>流動資産合計</b>			<b>273,911,683</b>	
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
預金	定期預金	運用益を介護保険事業等の 財源として使用している	200,000,000	
	尼崎信用金庫 宝塚支店		101,000,000	
	池田泉州銀行 逆瀬川支店		99,000,000	
<b>特定資産</b>				
能力開発積立 資産	普通預金 三菱東京UFJ銀行 宝塚中山支店(1061492)	介護保険事業等の積立資産で あり、能力開発資金として管理 されている預金	11,711,089	
減価償却積立 資産	普通預金 三菱東京UFJ銀行 宝塚中山支店(1129521)	固定資産取得のため積立資産 として管理されている預金	40,000,000	
修繕積立資産	普通預金 三菱東京UFJ銀行 宝塚中山支店(1129539)	介護保険事業等の積立資産で あり、資産修繕資金として管理 されている預金	59,915,411	
車両運搬具 什器備品 ソフトウェア		定期巡回随時対応型訪問介護 看護事業(補助金事業)に使用 している	17,972	
			838,750	
			2,338,652	
<b>その他 固定資産</b>				
建物	3,373.44㎡	介護保険事業等の施設に使用 している	3,074,708	
建物附属設備	宝塚市小浜4-5-6		32,555,829	
構築物			9,800,821	
車両運搬具			6,093,838	
什器備品			11,362,151	
ソフトウェア			849,661	
敷金			583,000	
保証金			698,000	
出資金			100,000	
<b>固定資産合計</b>			<b>379,939,882</b>	
<b>資産合計</b>			<b>653,851,565</b>	

## 財産目録

平成30年 3月31日現在

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)			
未払金	宝塚市医師会他72件に 対する 他	介護保険事業等に供する備品 購入等の未払分 他	67,341,545
未払法人税等			82,000
未払消費税等			2,246,200
未払費用		職員退職手当掛金(1~3月)の 未払分 他	18,901,802
預り金		社会保険料、住民税等の預り分	15,611,699
賞与引当金		従業員280名に対する賞与の 支払いに備えたもの	49,324,968
1年内返済予定 リース債務	車両運搬具		1,804,698
<b>流動負債合計</b>			<b>155,312,912</b>
(固定負債)			
リース債務	車両運搬具		6,654,515
<b>固定負債合計</b>			<b>6,654,515</b>
<b>負債合計</b>			<b>161,967,427</b>
<b>正味財産</b>			<b>491,884,138</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
 有形固定資産(建物、構築物)・・・定額法による。  
 有形固定資産(建物附属設備)・・・定率法による。  
 ただし、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法による。  
 有形固定資産(車両運搬具、什器備品)・・・定率法による。  
 無形固定資産(ソフトウェア)・・・定額法による。  
 リース資産(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産)  
 ・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。
- (2) 引当金の計上基準  
 賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (3) リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引  
 引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (4) 消費税等の会計処理について  
 消費税等の会計処理は、税込方式による。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
小 計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
能力開発積立資産	12,148,629	100,000	537,540	11,711,089
減価償却積立資産	69,083,682	50,000	29,133,682	40,000,000
修繕積立資産	83,845,611	0	23,930,200	59,915,411
車両運搬具	53,968	0	35,996	17,972
什器備品	1,383,780	0	545,030	838,750
ソフトウェア	3,306,366	0	967,714	2,338,652
小 計	169,822,036	150,000	55,150,162	114,821,874
合 計	369,822,036	150,000	55,150,162	314,821,874

※ 減価償却積立資産の当期減少額のうち16,372,867円及び修繕積立資産の当期減少額のうち19,320,554円は、安定的な事業運営を図るため、運転資金に充当した額である。

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	200,000,000	(200,000,000)	0	—
小 計	200,000,000	(200,000,000)	0	—
特定資産				
能力開発積立資産	11,711,089	0	(11,711,089)	—
減価償却積立資産	40,000,000	0	(40,000,000)	—
修繕積立資産	59,915,411	0	(59,915,411)	—
車両運搬具	17,972	(17,972)	0	—
什器備品	838,750	(838,750)	0	—
ソフトウェア	2,338,652	(2,338,652)	0	—
小 計	114,821,874	(3,195,374)	(111,626,500)	—
合 計	314,821,874	(203,195,374)	(111,626,500)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
車両運搬具	265,280	247,308	17,972
什器備品	3,003,949	2,165,199	838,750
ソフトウェア	4,838,579	2,499,927	2,338,652
小 計	8,107,808	4,912,434	3,195,374
その他固定資産			
建物	4,295,500	1,220,792	3,074,708
建物附属設備	64,854,380	32,298,551	32,555,829
構築物	30,790,830	20,990,009	9,800,821
車両運搬具	14,823,516	8,729,678	6,093,838
什器備品	56,969,561	45,607,410	11,362,151
ソフトウェア	4,723,725	3,874,064	849,661
小 計	176,457,512	112,720,504	63,737,008
合 計	184,565,320	117,632,938	66,932,382

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
定期巡回事業補助金	宝塚市	4,744,114	0	1,548,740	3,195,374	指定正味財産
特定求職者雇用開発助成金	兵庫労働局	0	1,850,000	1,850,000	0	-
定期巡回サービス事業者参入促進事業補助金	兵庫県	0	1,000,000	1,000,000	0	-
定期巡回サービス訪問看護充実支援補助事業補助金	兵庫県	0	195,750	195,750	0	-
合計		4,744,114	3,045,750	4,594,490	3,195,374	-

6 リース取引関係

(ファイナンス・リース取引)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容: 車両運搬具、什器備品

(リース会計基準適用初年度開始前のファイナンス・リース取引関係)

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位:円)

	什器備品
取得価額相当額	4,185,888
減価償却累計額相当額	3,953,339
期末残高相当額	232,549

(2) 未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	240,872	0	240,872

(3) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(単位:円)

支払リース料	1,521,450
減価償却費相当額	1,462,763
支払利息相当額	13,225

(4) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法による。

(5) 利息相当額の算定方法は、リース料総額とリース資産計上価額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法による。

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	1,548,740
合計	1,548,740

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、記載を省略しております。

### 2 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	48,231,648	49,324,968	48,231,648	0	49,324,968
合 計	48,231,648	49,324,968	48,231,648	0	49,324,968

# 監査報告書

一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社

# 監 査 報 告

平成30年5月29日

一般財団法人 宝塚市保健福祉サービス公社  
理事長 妙中 信之 殿

監事 柴 崎 崇



監事 平 井 利 文



私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事務所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 財務諸表等の監査結果

財務諸表等は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

### (3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以 上